

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	文京区放課後等デイサービスJOY		
○保護者評価実施期間	令和8年3月1日		令和8年3月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和8年2月28日		令和8年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安全計画などのマニュアルの整備に力を入れ始めたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全計画の作成や見直しを行っていること</li> <li>その他のマニュアルの整備に力を入れ始めたこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアルの整備への意識を途切れさせないように見直す習慣をつける。</li> </ul>
2	活動プログラムを話し合いながら立案していること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員同士でコミュニケーションをとりながら、児童が楽しく遊べることは何かを考え、活動プログラムを立案していること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童自らが発する意見を立案の段階から取り入れるように工夫していく。</li> </ul>
3	活動プログラムが固定化しないように工夫していること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節、イベントごとに合わせて変化のある活動ができるように心がけていること。</li> <li>児童が楽しめそうなことをすぐに活動に取り入れること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施した活動の検証の精度を高めることで、活動プログラムの構成をより良くなるように工夫する。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの適応行動の状況の考察の方法についてより客観性を深められるように、フォーマルなアセスメントとインフォーマルなアセスメントを組み合わせられるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所全体でフォーマルなアセスメントとインフォーマルなアセスメントの違いを理解しきれていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーマルなアセスメントとインフォーマルなアセスメントを組み合わせ考察がまとめられるように知識を深めることが必要である。</li> </ul>
2	こどもたちと地域交流についてのどのような取り組みをし繋がらなければいかイメージがもてない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流の取り組みを行ってはいるが、発展させることが必要と考えている。アイデアを出し合えるような場が必要だと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の同年代との関わりをもっと促進することことが地域交流においてもきっかけになると考える。他の事業所のイベントに児童とともに参加するなど地域に出ることが必要である。</li> </ul>
3	保護者同士の交流やきょうだい同士の交流についてのどのような取り組みをしたらよいかイメージがもてない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者同士の交流については、ニーズが高くなく、どのようなことをしたら良いか職員もイメージがもてない。</li> <li>きょうだい同士の交流については、ニーズの把握ができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者同士やきょうだい同士の交流について、柔軟な発想でアイデアを出し合えるように工夫していく。</li> </ul>